

ビジネスチャレンジ事業 提案審査における評価項目

新しいことに向かって自ら行動を起こす、チャレンジしていくという意識を持つことよって、真に社会の中で活躍できる人材として学生自身に成長してもらうことがこの事業の目的です。

この事業はビジネスとして成功させることを最終目標としていません。

立派なプランを作ることよりも、とにかく行動に移すこと、そして、それをやり遂げることを、審査会において重視します。

評価項目は以下のとおりです。この点を踏まえて、申込書の記載や、審査会でのプレゼンの準備を行ってください。

1 明確性・・・★

- ・ なによりもまず、どんなことをやろうとしているのかはっきりと伝えられているかどうか重要です。第1にそこを評価します。

2 チャレンジ性・・・★

- ・ 誰でも簡単に取り組めることしかやらないのでは、チャレンジ精神を培うことはできません。少し困難な内容でも思い切ってやってみるという姿勢を評価します。

3 学生の主体度

- ・ 取り組みの中には、学生だけでなく、企業と連携したり、社会人と一緒になって取り組む内容もあるでしょう。その場合でも学生が単に指示された通りに動くのではなく、学生が主体的に考えて行動できるような体制となっているかを評価します。

4 実行性

- ・ 確実に成功するかどうかは重要ではありません。この事業を最後までやり遂げる意思があるか、また、しっかりと進めていけるような体制になっているかどうかを評価します。

5 計画性

- ・ 目標を決めるだけでは、事業は進みません。どのように進めていくか筋道を立てて、時には方向修正しながら、一步一步進めていく必要があります。このように着実に進めていく計画ができているかを評価します。

6 ビジネス性

- ・ 実際にモノやサービスを提供して、それに対する対価をもらえるような取り組みを推奨します。
- ・ そのほか、製品のセールスプロモーションや、店舗や商店街への集客、ビジネスができる学生の育成を目指す起業家セミナーの実施など、ビジネスにつながる内容であるかどうかを評価します。

7 新規性

- ・ これから新たに取り組んでいく内容であるかどうかを評価します。
- ・ まったくのゼロから取り組む内容であれば、その内容によって評価します。
- ・ すでに取り組んでいる内容であれば、今回の提案部分がこれまでの取り組みをさらに発展・改善する内容となっているかを評価します。
- ・ 今まで誰もやっていなかった革新的なことでも大丈夫です。

★印は特に重要視する評価項目です。